



# 19時からパパも子育て

子育てしやすいように職場環境を整えることは、従業員のやる気創出や業務の効率アップが期待できます。こうした取組の積み重ねが少子化克服への一歩です。子どもは社会の宝。仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに会社全体で取り組んでいる企業へおじゃましてきました。



## 株式会社大和内装（秋田市）

業種:建設業 従業員数:17名

<http://daiwa-naiso.com>

大型ショッピングセンターや総合病院等の金属軽天内装工事業務を中心に、一般リフォームや除排雪事業を展開。「安全・迅速・丁寧」をモットーに、東北エリアで広く実績を重ねています。

### 作業時間を有効に活用し 定時の帰宅をすすめる

大和内装では、17名いる従業員のうち約半数が子育て中です。仕事と家庭の時間を有効活用できるよう、同社では作業現場に直行直帰の方法をとっています。朝晩の会社と建設現場の往復時間を省いて、自宅からまっすぐ仕事先に向かえるようになった分だけ、勤務時間内はしっかりと作業に集中できるようになりました。終業の報告は、各現場の担当者から会社に電話連絡で済ませ、それぞれが定時になると自宅へ戻って家族との時間を楽しみます。

作業中も各自が目標を設定し、効率よく作業を行うことで、仕事の精度もアップ。同社のモットーである「安全・迅速・丁寧」な工事を実現しています。



●従業員から  
(熊谷常務、事務 牧野さん)

信頼関係が責任感を育む

仕事の現場は、担当者によって違います。直行直帰でしっかりと仕事ができるのは、会社と従業員の信頼感があってこそ。

「毎日子どもの顔が見られるし、時間通りに帰宅できるので、仕事も家庭生活も充実しています」と熊谷常務。

「会社に誰かほかの人がいる時に、子どもの用事などが入ったりすると、ちょっと外出させてもらうこともあります。子育てに優しい職場には感謝していますし、とても魅力を感じています」と牧野さん。



●職場から  
(佐藤代表)

## 自分の時間をつくるのも大切なこと

現場への直行直帰で実質的に仕事の中身を濃くしながら、所定外労働を減らし、時間を無駄にしないよう心がけています。一人ひとりが責任を持って仕事に臨んでくれるので、会社に戻らなくても心配することはありません。小さな子どもがいる若い従業員も多いので、育児も積極的に支援したいです。仕事を終わったら早めに帰宅して、家族と充実した時間を過ごして欲しいですね。



### 効果が見られた点

- ◎効率よい時間の使い方と精度の高い仕事ができる。
- ◎仕事に対する責任感、従業員の成長につながる。